



第1回避難訓練を実施しました

◆5月21日(木)地震・津波を想定した避難訓練を実施しました。地震が発生し、まずは頭などの身を守る行動をとりました。その後、津波が来ることを想定し、みのり幼稚園さん横の避難場所まで避難しました。避難が完了し、学校に戻って各自で振り返りを行いました。

<生徒の振り返り結果 肯定的回答(できた・まあできたの合算)>

- ①避難経路を理解し、実際に避難するときに迷わず避難できる自信がついた。⇒96%
- ②地震・津波のときに迅速避難するために日頃から意識すべき点や協力するべきことが身についた。⇒97%
- ③訓練を通じて、日ごろから災害に備えようとする意識が高まった。⇒96%
- ④机の下に入るなど、自分の身を守る行動ができた。⇒99%
- ⑤指示や放送をしっかり聞いて行動できた。⇒96%
- ⑥落ち着いて素早く避難することができた。⇒95%
- ⑦避難経路で安全に気をつけて行動できた。⇒98%
- ⑧周りとの協力したり、自分で考えて行動したりできた。⇒96%

※アンケート結果は概ね良好ですが、「私語が多かった」や「校内放送が聞こえにくい」などの課題も浮き彫りになりました。万が一に備えて生徒の安全安心の確保に向けて改善に向けて取り組んでいきます。



学校の教育目標の達成に向けて

◆5月26日(火)

第1回南中学校区学校運営協議会を開催しました。本校と校区内の3小学校のPTAや地域の関係者の方々およそ30名が参加しました。各学校の学校経営方針や学校で取り組む内容(学校評価の4点セット)等の説明をし、会員の方々からご承認をいただきました。その後、昨年度の校区学校運営協議会の取組の振り返りなどを行い、今年度の活動の方向性を共通理解しました。今年度も小中合同避難訓練を予定していることや新たなテーマとして、子どもたちのSNSの利用についての課題を話し合っていくことを確認しました。

本校は、開校40年の節目ということから、本校の校訓に立ち返った教育目標『自らの在り方や生き方を探求し(自主)、他者と協働しながら(信愛)、課題に粘り強く取り組む(努力)生徒の育成』としています。この目標の達成に向けて、学校と家庭、地域が一体となって取り組むために3者の取り組みを整理したシートが「学校評価の4点セット」です。4点とは、「重点目標」「達成指標」「重点的取組」「取組指標」を表しています。(裏面)子どもたちの成長のためにぜひともご協力のほどよろしくお願いいたします。



各学校の話し合いの様子

学校の教育目標:「自らの在り方や生き方を探求し(自主)、他者と協働しながら(恋愛)、課題に粘り強く取り組む(努力)生徒の育成」

育成を目指す資質・能力:「自己実現力」「自己調整力」

重点目標	担当	達成指標	分担	重点的取組	取組指標	学習指導要領が目指す資質・能力との関連			
						知識及び技能	思考力、判断力等	学びに向かう力、人間性等	
目的意識をもって課題に粘り強く取り組み、目標の達成に向けて努力する生徒の育成	研究主任	<p>(A) 下記の学力に関する調査及びテストにおいて目標値を達成する。 【短期】 ①定期テスト等の知識・技能に関する問題で全教科平均正答率を80%以上にする。 ②各教科の単元テストの記述式問題での全教科平均無回答率を10%未満にする。 【長期】 ③各種学力調査(全国、大分県、佐伯市)における全教科の正答率を市平均値以上にする。 ④各種学力調査(全国、大分県、佐伯市)における記述式問題の正答率を市平均値以上にする。</p> <p>(B) 以下のアンケート調査で肯定的回答を80%以上にする。 【生徒調査】 ①目標をもって計画的に行動できた。 【保護者調査】 ②子どもは目標をもって計画的に行動できている。 【教職員調査】 ③生徒は目標をもって計画的に行動することができている。</p> <p>【生徒調査(授業評価)】 ④自分から進んで学習や課題、練習に取り組もうという気持ちになった。 ⑤授業の内容に興味をもち、より専門的な内容や社会との関わりなどを「もっと知りたい」と思うことがあった。 ⑥自分の考えを理由とともに説明する場面があった。 ⑦発言したり、課題の解決方法の選択したりする場面があり、自分の意見や判断を大切にできた。</p>	学校	(1) 授業改善・授業力の向上	① 授業者は、「南中スタイル」に基づく授業を毎時間実践する。	○	○	○	
					② 授業者は、単元計画に基づいた「情報の取り出し→思考→判断→表現」を意識した授業に取り組む。	○	○	○	
					③ 授業者は、単元計画に基づいた「必然性を持ったペア・グループ活動」を行う。	○	○	○	
					④ 研究主任は、生徒による授業評価アンケートを学期に1回以上実施し、職員と共有する。	○	○	○	
				(2) 「生徒指導の3機能」を重視した取組	⑤ 授業者は、毎時間の授業で「生徒指導の3機能」を取り入れた展開を行う。	○	○	○	
					⑥ 担任は、毎学期はじめと終わり等、計画的に「未来をえがくキャリア・ノート」を活用した目標設定や振り返りを行う。	○	○	○	
				(3) 目標設定と振り返りの充実	⑦ 各担当者は、各種行事等において、校訓と運動した目的のもとで、取組を進め、生徒が振り返りをする機会を設定する。	○	○	○	
					⑧ 授業者は、定期テスト、単元テスト等に「記述式問題」を設定する。	○	○	○	
				(4) 自分の意見や考えを表現する場の設定	⑨ 国語科は、南中タイムにおいて読書活動とコラム学習に取り組む、学期に1回、全教職員で効果の検証を行う。	○	○	○	
					⑩ 保護者は、学期に1回、定期テスト計画表を確認し、励ましコメントをする。			○	
家庭	(5) 子どもの目標と振り返りの確認	⑪ 保護者は、学期に1回以上、将来の目標や進路について話し、認め、励ます言葉かけを行う。			○				
		⑫ 学校運営協議会の地域メンバーは、学期に1回以上、学校の教育活動、学力向上対策等について意見及び助言・支援を行う。	○	○	○				
地域	(6) 生徒の学力・表現力向上に向けた助言・支援	⑬ 地域住民は、登下校時や生徒との交流場面において、あいさつや言葉かけを積極的に行う。			○				
		⑭ 担任は、人間関係づくりプログラムを週1回実施する。	○	○	○				
互いに認め合い、高め合い、他者と協働する生徒の育成	教務主任	<p>(C) 以下のアンケート調査で肯定的回答を80%以上にする。 【生徒調査】 ①授業や学校行事等において、自分の考えを相手や仲間へ伝えることができた。 ②友達や仲間の考え方や思いを尊重し、互いに理解し合うことができた。 ③地域学習や地域行事に積極的に参加することができた。</p> <p>【教職員調査】 ④生徒は、授業や学校行事等において、自分の考えを相手や仲間へ伝えることができている。</p> <p>【保護者調査】 ⑤子どもは、地域の行事等に積極的に参加している。</p> <p>(D) hyperQU調査における学級不満足群の生徒の割合を20%未満にする。</p>	学校	(7) 互いのよさを見つけ認め合える集団づくり	⑮ 教育相談コーディネーターは、「人間関係づくりプログラム」の毎月の計画を作成し、提案する。	○	○	○	
					⑯ 担任は、年2回hyper-QU調査の分析をもとにした支援計画を作成し、適宜、その進捗について学年部等で共有する。	○	○	○	
					⑰ 担任は、毎時間の授業で「生徒指導の3機能」を取り入れた展開を行う。【再掲】	○	○	○	
				(8) 目標設定と振り返りの充実【再掲】	⑱ 各担当者は、各種行事等において、校訓と運動した目的のもとで、取組を進め、生徒が振り返りをする機会を設定する。	○	○	○	
					⑲ 各担当者は、各種行事等において、校訓と運動した目的のもとで、取組を進め、生徒が振り返りをする機会を設定する。	○	○	○	
				(9) 積極的な地域貢献	⑳ 総合的な学習の時間担当は、年1回以上、地域貢献に係る取組を計画し、生徒の振り返りをフィードバックする。	○	○	○	
					㉑ 担当者は、学期に1回以上、生徒に地域ボランティアに参加するように呼びかけ、参加者が活動内容を伝える場を設ける。			○	
				家庭	(10) 学校の話題や地域の話題の共有	㉒ 保護者は、月に2回以上、学校通信等をもとに、学校での様子や活動・活躍内容を子どもと共有する時間をもつ。			○
						㉓ 保護者は、月に1回以上、家庭内で地域の行事等に関わる話を行う。			○
				地域	(11) 地域の人的・物的資源を活用した授業実践の支援	㉔ 地域協働コーディネーターは、地域と学校を結ぶ情報の提供や人材活用時の連絡、およびCSでの企画・運営等に協力する。			○
㉕ 地域の方々は、学校と連携して取組を行う際、協力、支援を行う。			○						
働きやすい環境の実現と推進	全職員	<p>①時間外在校等時間の月平均45時間未満の職員100%</p> <p>②時間外在校等時間の年間360時間未満の職員100%</p> <p>③ストレスチェックによる総合健康リスク職場平均を全体平均以下</p>	学校	(1) 子どもと向き合う時間確保に向けた組織的な業務の効率化	① 運営委員会は、月に1回以上、行事の準備・運営・内容等についてスリム化・効率化の視点から協議し、職員会議で全体連絡する。				
					② 全教職員は、水曜日は定時退庁(45分以内)を行う。				
				家庭	(2) 教職員の超勤減少に向けた協力	③ 保護者は、出欠・遅刻・早退等の連絡は、学校連絡アプリを利用する。			
						④ 保護者は、学校への提出物の期限を守る。			
				地域	(3) 学校運営協議会への参画や環境整備等への参加・協力	⑤ 地域の方は、学校環境の整備に協力する。			
						⑥ 地域の方は、地域活動の際、ボランティア生徒の指導を行う。			